

留学報告書

英米語専攻三年 西浦みや

私はフィリピン、セブのラプラプセブ国際大学（LCIC）に四か月間留学しました。本日に毎日が新しい経験の連続で、人生で一番充実した四か月でした。私は海外に行ったことがなかったのでとても緊張していましたが、履修など出発前の諸々の手続きに対して日本語での手厚いサポートがあり、留学中も何か問題があれば日本人の職員さんがサポートしてくださるので安心して生活できました。日本資本の大学ということもあり衛生面もフィリピンの中ではトップクラスであると思います。海外にいながら綺麗なトイレやサウナが使えるのは大きな安心材料でした。セブは観光地なので、週末には大きなショッピングモールや教会、ビーチやカフェなどいろんなところに出かけることができました。特に海がとても綺麗で、海に入るのが好きな方は様々なウォーターアクティビティーが楽しめると思います。フィリピンの人たちはとても明るく陽気で、細かいことは気にせずいつも歌って踊っていて、どこへ行ってものんびりと時間が流れていて本当に素敵な国でした。

そして私が何より LCIC を選んでよかったと思う理由は大好きな先生方、友達に出会えたことです。先生方は明るく、優しく、私ができるまで根気強く教えてくれました。留学に行く前は失敗するのが怖くて英語を話すことをためらっていましたが、留学先の授業は質問や発言がしやすい雰囲気だったので英語を話すことが怖くなくなりました。先生が私にいろんな質問をしてくれたり雑談に付き合ったりしてくれるので、英語を話すことが楽しいと思えるようになりました。また、フィリピン人のルームメイトもいつも私のつたない英語を笑顔で聞いて理解してくれました。彼女たちとはいろんな話をしましたが、特にフィリピンの文化についてたくさん教えてもらいました。フィリピン料理のお店やナイトマーケットに連れて行ってくれたり、ストリートフードを買ってきてくれたりしたこともありました。フィリピン人と日本人の国民性、恋愛観、宗教観などの違いについて話したこともとても面白かったです。彼女たちのおかげで私はフィリピンのことが大好きになりました。さらにフィリピンだけでなく、台湾、韓国、日本人の友達もたくさんできました。授業はゲームやペアワークが多いのですぐに仲良くなれるし、みんなフレンドリーで面白い人たちばかりでした。留学生は少ない月で50人、多い月で500人ほどいたので友達をたくさん作りたい方にはぴったりだと思います。LCICの留学は四か月（八月スタート）と三か月（九月スタート）から選べますが、特に八月に台湾と韓国の留学生が多いので四か月の留学をおすすめします。

そんな留学期間を過ごし、一番成長したと感じるのはスピーキング力です。留学前、先にも述べた通り私は英語を話し失敗することを恐れていました。英語で話す機会がないからと自分に言い訳していましたが、本当にもったいないことをしていたと思います。留学先では授業、友達との会話、お店での注文など、英語を使う機会に溢れており覚えたこと

をすぐにアウトプットできました。そしてそれが自信になり、英語を話すことがどんどん楽しくなりました。フィリピン人の友達との会話からは実際に使われる生の英語を学ぶことができたし、リアルなスピーキングの練習になりました。本当にスピーキングは使わないと伸びないのだと痛感しています。帰国後はやはり英語を話す機会が減ってしまいますが、様々な制度やアプリなどを活用して英語を使い続けたいと思います。